

06 漁業・水産業

基本情報



【年 齢】
52歳
【前居住地】
静岡県 菊川市
(出身：北海道)
【転出元】
三重県 大紀町
【前 職】
官公庁（水産庁）
民間企業、農業
【活動時期】
R4.8～R7.7

協力隊に応募したきっかけ

三重県在住の友人から「大内山川漁協で地域おこしの募集をしているので来ませんか？」との誘いを受け、内容を伺ったところ、お役に立てる部分も多そうであり、地域の活性化に一役買えると考え応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

地域おこし協力隊での3年の期間は、漁協の取り組みを他の関係する分野と繋ぎ、大紀町の観光振興全体を活性化できるように連携を図っていききたいと思います。

また、地域おこし協力隊卒業後は、可能であれば、このまま大紀町に在住して、主に内水面漁業や水産業に関する仕事を中心として生活し、地域全体の活性化への取り組みを続けられれば理想的だなと考えています。

活動内容

●川の環境整備、遊漁者増加から地域振興へ

地域おこし協力隊に就任し、大内山川漁協が進めている遊漁者を増やす対策、その中でもICT化により漁業者が電子遊漁券（フィッシュパス）をネット経由で購入できる環境の整備を進めています。この取り組みは、特にアユやアマゴが釣れる環境の維持増大が最も重要な要素の一つです。釣れる環境を維持し釣り人を増やすためには、アユやアマゴを食べてしまうカワウの飛来を減らす対策や、快適な対策を作るための清掃活動や河川工事による環境への影響低減、素敵な環境や魚の豊かさを広報する活動などが重要ですが、これらの内容を達成するには国や県等に対する様々な働きかけや情報収集、関係する民間団体や企業等との調整・協力、生態系の維持やその調査研究、有意義に活動できるようにするための予算確保も必要となってきます。かなり広範囲ではありますが、これらのような内容を大内山川漁協はじめ関係する皆さんとともに進めています。多くの要素を出来る限り迅速かつ適切に進め、より良い形で大内山川に多くの釣り客が訪れ、地域振興に貢献できるよう頑張っていきます。



連絡先

(メールアドレス) 大内山川漁業協同組合 <ayuriver@ma.mctv.ne.jp>

(電話番号(職場)) 0598-74-0666